

第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画  
第2回策定委員会

## 第1回策定委員会で出された意見とその反映

- (1) 第1回策定委員会で出された意見について
- (2) 第9期計画策定の4つの視点の修正について
- (3) 第9期策定に当たって考慮すべきもの(追加項目)
- (4) (保険者機能強化として)地域ケア(推進・個別)会議等の会議体から抽出された地域課題・資源開発・政策形成

# (1) 第1回策定委員会で出された意見について

## 主な意見

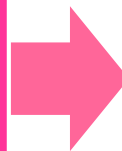
- 市は保険者としてまちをデザインする力を持ち、本市をどうしていきたいのかを考え、この委員会で示しながら、各委員に意見を伺うべき。
- 保険者機能の強化を、市としてどのように考えているのか。
- 市は国の基本指針に基づいた内容だけではなく、第9期計画の中で何を重点的に行っていくかを示すべき。
- 4つの視点の中に「地域包括ケアシステムの深化・推進」とあるが、本市の地域包括ケアシステムがどのような支援体制があって、どう進んでいるのか、この計画を見た市民の方がわかりやすい内容にするべき。
- 地域の実情に応じたサービス基盤の整備について、今後高齢者人口はピークを迎えた後、なだらかに減少していく状況を考えると、地域のニーズと財源の実情などのバランスを考えながら、息の長い計画を立てていくべき。
- 高齢者の移動手段が少ない中、老人福祉センター南河原荘と永寿荘をそれぞれ建替えても生産性が低い。近くの公民館等に障害者の方や子供達と一緒に過ごせる通いの場をつくるなど必要ではないか。
- 敬老祝金の支給について、以前にも意見が出たが、支給対象者や金額を見直し、代わりに何を行えばよいのか検討すべき。
- もの忘れ検診について、若年性認知症を早期発見するためにも、50代の受診を促進する取組を行うべき。
- 認知症サポーターは、養成講座を行うことにより数は増加してるが、サポーターの活躍できる場が少ないので、創出していくべき。
- 資格取得に対する助成事業よりも、介護事業所とのマッチングイベントなどの就職支援の継続は必要ではないか。
- 介護職員の離職率が高いため、介護職に就くことでメリットが生まれるような施策を行うべき。
- 介護人材だけでなく、看護師の不足も深刻となっている。

## (2) 第9期計画策定に当たっての4つの視点の修正について

第1回策定委員会でいただいた意見を踏まえ第9期計画策定の(各基本目標で定める施策の検討)4つの視点について以下のように見直します。

### 第9期計画 4つの視点

- 地域包括ケアシステムの深化・推進による地域共生社会の実現
- 介護予防・重度化防止
- 健全な介護保険財政の確立と介護・人材確保による持続可能な制度の運営
- 介護サービス基盤の計画的な整備(地域の実情に応じたサービス基盤の整備、在宅サービスの充実)



### 第9期計画 4つの視点(修正)

- 地域包括ケアシステムの深化・推進による地域共生社会の実現
- 介護予防・重度化防止
- 健全な介護保険財政の確立と介護・**看護**人材確保による持続可能な制度の運営
- 介護サービス基盤の計画的な整備(地域の実情に応じたサービス基盤の整備、在宅サービスの充実)

### (3) 第9期策定に当たって考慮すべきもの（追加項目）

1. 第8期計画の評価・検証委員会から出されたご意見
2. 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の国及び県の方針
3. 「新しい行田へ～みなさんといっしょに～」(政策集)に掲げる政策
4. 第8期の目標とその実績、評価、施策ごとの課題と今後の方向性(事務局案)
5. アンケート調査結果
  - 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
  - 在宅介護実態調査
  - 介護サービス提供施設・事業所調査)
6. (保険者機能の強化として)地域ケア(推進・個別)会議等の会議体から抽出された地域課題・資源開発・政策形成

# (4) (保険者機能強化として)

## 地域ケア (推進・個別) 会議等の会議体から抽出された地域課題・資源開発・政策形成

### 第8期計画 (令和3年度以降) の会議体からの地域課題

※・対応済 (○) ・対応中 (▲) ・第9期計画反映予定 (9) ・要検討 (他の計画・施策との調整含む) (◆)

- 訪問型サービスAの導入の必要性 (○)
- スモールステップによる目標設定と自立支援 (○)
- 介護保険に関わる職種に対する自立支援研修の必要性 (▲)
- コロナ禍における口腔アセスメントの実施困難 (○)
- 通所リハビリテーションからの卒業のための介護予防・日常生活支援総合事業活用 (○)
  - 通所型サービスC (短期集中型) の活用
  - 訪問型サービスC (短期集中型: 栄養) の活用
- 要介護1以上の方の栄養指導が課題 (○)
- 介護専門職への栄養知識の不足 (9)
- 移動販売サービスの拡大の必要性 (▲)
- 手続きが少なく、低額で利用できる移送、支援サービスが必要 (◆)
- 75歳以下の移動支援の確保 (9)
- 病院等の付き添いサービスがない (○)
- 健康施設が多いが、利用の周知ができていない (▲)
- 空き家の増加と活用 (◆)
- 孤立者が増加しているが周りに頼める人がいない (▲)
- 団体の高齢化と運営者不足 (◆)
- 65歳以下ボランティアが少ない (9)
- 自治会未加入者の増加に伴い、地区住民の状況把握が困難 (▲)

### 地域ケア推進会議などの会議体 資源開発・政策形成

